

平成23年度農地・水保全管理支払交付金等に係る活動組織説明会を開催

平成23年5月24日から26日まで、本協議会は、県内3会場（宇都宮市、小山市、矢板市）において「農地・水保全管理支払交付金等に係る活動組織説明会」を開催しました。

説明会には、332活動組織から932名の組織代表者や事務担当者が参加し、皆一様に協議会担当者の説明を熱心に聞き入っていました。

本年度は、「地域共同による農地・水・農村環境を保全向上させていくシステムづくり」の総仕上げに向けて、“地域の自立”や“活動の継続”に視点を置いた取組を充実させていくとともに、東日本大震災で被災した施設や老朽化が進む施設について計画的に機能保全や長寿命化を図っていくため、4つの重点取組項目を説明しました。

- ① 「将来を見据えた体制づくり」
- ② 「震災被害の効果的な復旧」
- ③ 「多様な主体の参画による活動の充実」
- ④ 「他農村振興施策との連携」

このほか、エコアップ活動の効果検証（モニタリング調査）の着実な実施、活動組織の会計経理及び事務処理の適正化、体制整備構想策定の留意点、向上活動支援交付金の事務スケジュール等について説明しました。

また、説明会終了後、活動組織参加者からは活動内容に係る質問や次期対策に向けた要望が出るなど、活発な意見交換が行われました。



県南地域説明会の様子（小山市文化センター大ホール）



県北地域説明会の様子（矢板市文化会館大ホール）